



公益  
社団法人 京都府放射線技師会

# 京放技ニュース

3 / 2019  
(通算 706 号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX 075-802-0082 E-mail:kyohogi @ mbox.kyoto-inet.or.jp  
ホームページアドレス http://www/kyohogi.jp/

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込郵便口座 01070-3-11019

ゆうちょ銀行 店名(店番)109 当座 0011019 シャ)キョウトフハウシャセンギシカイ

## 今年度の技師会を総括

公益社団法人 京都府放射線技師会副会長 原口 隆志

今冬は暖冬といわれていますが、そこそこ寒いと思っている今日この頃、インフルエンザも猛威を振るっていますが、皆様におかれましてはいかがでしょうか？

このニュースが皆様が届くころには、京都府放射線技師会のイベントは、学遊会のみとなっています。楽しく BBQ とミニセミナーとなっております是非とも会員の皆様の参加をお待ちしています。

そして3月ということで恒例のようになりましたが、今年度の技師会活動を振り返ってみたいと思います。

まず、「業務拡大に伴う統一講習会」ですが、今年度は京都医療センター・京都府立医科大学・京都第二赤十字病院で計3回を開催しました。平成27年に開催して以来4年が経過し、受講者の減少が懸念されましたが、意外と減らなかったかな？と思っています。会員の受講割合は6割を超えたのですが、京都府下全体の技師数からすると半数にも満たしていない現状があります。診療放射線技師として今後も活躍していくためには、必ず受講していただきたい。来年度は両丹地域を含め、3回の開催を予定しています。再来年には、統一講習会の単位を履修した学生が卒業し私たちの仲間入りしてくることもあり、地方開催は来年度で終了する予定となっています。今後、さらに診療放射線技師養成所カリキュラムが増える予定で、それに伴って「新たな講習会」が展開される予定であります。将来の高度医療専門職として医療社会のニーズに適応していくためにも、しつこいようですが、まず、技師会が開催する統一講習会を技師全員に受講していただきたいところです。

また日放技主催の講習会としては、フレッシューズセミナー、「看護学」実習のみを開催しました。それぞれ多くの参加があり、業務に活用できる有意な講習となりました。

当会主催の研修会は、例年通りにさまざまな形式で多くの方が参加でき、技師としての知識・技術向上に向かって数回開催してきました。その中で、今年度も2月に学術大会を開催し、テーマを「元気に楽しく生きよう」～健康寿命を伸ばすために～としてメタボと骨粗しょう症について2講演、その後には各地区より演題発表が行われ、公開講座では63名の一般府民の参加もあり、盛大に開催されました、その後の新春の集いにおいては、料理の予定が違うハプニングもありましたが、和やかに且つ、楽しく参加者相互の親睦がはかられたと思っています。

原子力災害における防災訓練や、京都府・京都市・京都府医師会主催の「くらしと健康展」等、例年行われているさまざまな事業に加え、創立70周年記念式典も執り行われました。70年の歴史の中、様々な活動の積み重ねが今日の伝統ある京都府放射線技師会となっている事を改めて思い、諸先輩方への敬意と感謝そして、現在の理事はじめ会員の皆様へ感謝したいと思っております。今後も会員の皆様とともに、医療人としての診療放射線技師の地位向上、技術や知識の向上に向けて活動を行ってまいりますので、よろしく願いいたします。

## 学術大会 & 府民公開講座報告

学術委員会理事 後藤 正

テーマ「元気に楽しく生きよう」～健康寿命を伸ばすために～、として府民公開講座、また、学術研修会として一般演題の発表が行われました。一般府民を招いた府民公開講座は一般参加者が 63 名、学術研修会では技師会員 49 名、合計 112 名の参加者となり大盛況でした。実行委員の皆様ご協力ありがとうございました。下記に講演を報告します。

### 府民公開講座

#### 「メタボとそのこわい合併症の効果的な予防法 ～健康長寿を目指して～」

独立行政法人国立病院機構京都医療センター

臨床研究センター 内分泌代謝高血圧研究部長 浅原 哲子 先生

近年、日本においても食生活の欧米化に伴い、肥満者の割合が成人男性の約 3 割、女性約 2 割に達するなど増加しています。メタボリックシンドロームは、内臓脂肪蓄積型の肥満を基盤に、糖尿病・脂質代謝異常・高血圧などの生活習慣病が同時に生じ動脈硬化が進みやすい病態を指し、脳卒中や心血管病の発症リスクが高くなると言われています。

肥満症治療は食事療法、運動療法、行動療法、薬物治療など内科治療が基本です。京都医療センターでは 17 年前に、「肥満・メタボリックシンドローム外来」という専門外来を開設し、減量指導と合併症の早期診断・治療に重点をおいて、医師、看護師、栄養士によるチームワーク医療を展開しております。特に、日々の食事や体重が記録できる当院作成のダイエットノートは、減量過程において大変効果的です。肥満には生活習慣病や心筋梗塞を始め、脂肪肝、痛風、睡眠時無呼吸症候群、整形外科的疾患や腎障害など多くの合併症が発症しやすくなります。当外来では、体組成、筋肉量、内臓脂肪量から様々な合併症の検査まで定期的に行っています。これにより、減量による検査値の改善を実感してもらい、減量意欲の向上やリバウンド防止に大きく役立っています。減量への動機付けとリバウンド防止の為、外来診療以外に、減量入院プログラム、メタボ患者会、メタボ通信の配信など様々な肥満対策にチームで取り組んでいます。また、ダイエットノートのデータを基盤として、ダイエットに効果的な食事療法、運動療法の提案も行っております。

健康長寿を目標に、肥満症・メタボリックシンドロームにおけるこわい合併症とその効果的な予防法・減量法について楽しくご紹介していただきました。

#### 「ロコモティブシンドロームと骨粗しょう症」

関西医科大学整形外科 准教授 串田 剛俊 先生

65 歳以上の高齢者の割合は増加傾向であり、2020 年には人口の 30%になると予想されています。我国の健康寿命は男性で 70 歳、女性で 73 歳とされ、平均寿命より 10 歳以上短いとされています。介護が必要とされる方の約 25%は「転倒と骨折」が原因であり、いかに転倒しない足腰を維持するのか、そして、骨折しない骨を維持するのが重要です。

転倒しない足腰を維持するために日本整形外科学会からロコモティブシンドローム（ロコモ）という考えが提唱されています。ロコモとは運動器の障害により「要介護になる」リスクの高い状態になっていることです。日本整形外科学会では、ロコモを予防するための「片足立ち」や「スクワット」など簡単にできる運動方法（ロコトレ）の普及にも力を入れております。骨粗鬆症治療について、従来は週 1 回や月 1 回内服するビスホスホネート製剤が主流でした。これは「骨を壊す細胞（破骨細胞）」の活動を鈍らせる薬剤です。寝たきりの方や認知症の方には服用が困難でしたが、週 1 回から年 1 回の

注射製剤の使用が可能となりました。さらに、「骨を作る細胞（骨芽細胞）」を活性化させる注射製剤も登場しています。寝たきりのリスクを増加させる「背骨の骨折（椎体骨折）」の治療方法では、経皮的椎体形成術という骨セメントを骨折部に注入する方法、下肢に麻痺がある場合には神経を圧迫している骨を削る手術など多数方法がありますが、以前と比べ負担がかからない手術方法が開発されています。

脊椎手術の適応はあくまでも神経障害や難治性疼痛のために行う治療方法です。筋力強化や骨密度改善などの介護を要さないため、7つのロコチェック、ロコモトレーニング、嗜好品と食事療法の取り組み、適度な運動、定期的な検査、適切な骨粗鬆症治療薬などの一人一人の毎日の取り組みが重要であり、社会全体で取り組んでいく課題である。

## 第 574 回研修会

「マンモグラフィに使用するターゲットの違いによって発生する

低コントラスト分解能の違い『モリブデンとタングステン』

北地区 京都第二赤十字病院 田中 祐衣

従来のアナログマンモグラフィにおいては低エネルギー領域に特性 X 線を持つ Mo（モリブデン）ターゲットが主流であったが、近年のデジタル化で Rh（ロジウム）や W（タングステン）ターゲットが使用されつつある。これは高エネルギー成分を多く含むので被ばく低減が可能であるが、画像コントラストへの影響は不明であったので、ターゲットとフィルタを変化させて低コントラスト分解能の比較を行った。散乱体として PMMA ファントムで厚さを変化させて、CDMAM ファントムを撮影した画像をモニタに表示し、6名の診療放射線技師で視覚評価を行った。それを IQF 法という画質を定量化する指標にて数値化した。結果、散乱体が 20mm のときは Mo ターゲット / Mo フィルタが、40mm のときは Mo / Rh が、60mm のときは W / Rh が優位であった。つまり、低コントラスト分解能は薄い乳房では Mo ターゲットが、厚い乳房では W ターゲットが優れていることがわかった。

「外部放射線治療における聴覚障害者に対する息止め照射法」

中地区 京都市立病院 小菅 友裕

肺がんや肝腫瘍などは呼吸性移動を伴うので放射線治療の際は息止めが必須だが、聴覚障害者の方はそれが困難である。鉛エプロンを着用した職員が患者のそばで視覚的に指示を行うことも放射線治療ではできない。そこで投影機を用いて治療室内に投影した映像で患者へ息止め指示を行うように検討してみた。患者の腹部を呼吸波形管理装置でモニタリングし、壁に投影した映像を患者の顔の前に設置した小型の鏡で見ってもらうように設置した。結果、健聴者の息止め照射と比較して再現性に有意差はなく、同等に照射ができた。

「新人教育プログラム～導入から 9 年経過して～」

東地区 京都大学医学部附属病院 姫路 早紀子

京都大学医学部附属病院放射線部では 2010 年より人材育成の糧として新規採用者の初期教育で教育プログラムを作成して育成を行っている。日々の検査・診療業務を行っていく上で必要とされる知識や技術をテクニカルスキルとして、細かく項目化した「PENET 標準スキル・モラルクラウドシステム」を使用し、項目に沿った内容を研修し毎月のスキルチェックで達成度を確認する。研修内容は基本的な項目とし、日常業務を 1 人で行うことができるレベルを目標とした。試行錯誤し、教育プログラムの改変を行ってきたが、教育する内容の変化ではなく、教育方法を変化させることが必要であることがわかった。また、それ以上に教育する側（クリニカルコーチ）のスキルアップの必要性を感じる。

**「骨シンチ撮影時の一考察」**

西地区 京都桂病院 森下 雄太

京都桂病院での骨シンチグラフィでは 9 割以上が骨転移の検索である。その中で稀な転移を経験したので紹介する。

その患者は頸部の腫瘍に気が付き来院、精査の結果肺がんと診断された。治療開始より半年後に撮影された骨シンチで右前腕部の高集積が認められたが、投与時の皮下漏出と判断された。しかし 5 か月後の骨シンチにて前回と同様の高集積を認めたため、SPECT 撮影を追加したところ右橈骨幹部に長軸方向に沿った集積亢進が確認され、その後の CT で骨皮質の転移と診断された。これ以降、再発防止策として投与部位を電子カルテ上に記載することにした。当症例を前腕骨が重ならないようポジショニングする重要性を示すものとして教育に利用している。

**「整形領域における DE (dual energy) CT の役割」**

南地区 京都岡本記念病院 三浦 健一

京都岡本記念病院ではシーメンス社製の SOMATOM Definition Flash を導入して 2 年が経過し、四肢の撮像に DE を使用しての撮像が増えてきた。当病院で実用している DE の技術は Bone Marrow (骨髄イメージ) と Monoenergetic + (仮想単色 X 線等価画像: virtual monochromatic image モノクロマティックイメージ) の 2 種類になります。Bone Marrow では、MRI の骨折画像に似た浮腫性変化を画像化できた。Monoenergetic + では、各仮想単色エネルギー (40、70、190keV) で作成した 3D 画像で高エネルギーに変更することで腱と筋肉や骨皮質と海綿骨のコントラストが付き、3D 画像が作成しやすくなった。

**「骨粗鬆症マネージャー取得について」**

～ 診療放射線技師の骨粗鬆症マネージャーとしての取り組み～

両丹地区 京丹後市立弥栄病院 城下 克明

骨粗鬆症治療問題を解決すべく進められている取り組みの一つに骨粗鬆症リエゾンサービスがある。リエゾンとは「連絡係」と訳され、多職種の医療従事者が連携して骨粗鬆症の予防・改善・骨折予防を行なう取り組みの事である。その役割を担うのが「骨粗鬆症マネージャー」である。その仕事内容は、所属する施設・職種によって異なるが、骨粗鬆症治療とその継続をサポートするという点では役割は共通している。日本骨粗鬆症学会による認定制度がスタートしてから 2018 年 4 月現在まで 2499 名の骨粗鬆症マネージャーが誕生しているが、診療放射線技師は全体の 5% である。京都府内の骨粗鬆症マネージャーは 27 名で、その中で診療放射線技師は私を含め 2 名しかいない。診療放射線技師の骨粗鬆症マネージャーが多職種チームでの取り組みに参加し、健康寿命の延伸に寄与することを目標に、私自身も取り組んでいくつもりである。

**「トモセラピー (TomoHD システム) を用いた、金冠からの散乱線の評価」**

西南部地区 NHO 姫路医療センター 大西 孝志

トモセラピー (TomoHD システム) を用い、歯の治療後の金冠からの散乱線の評価と散乱線の影響を低減させる方法を検証した。

計画装置上ではステンレス板の有無での線量分布への影響は目視で確認できなかったが、フィルム解析ではステンレス板がある場合、ステンレス板を境にして上方向で線量が高く、下方向では線量が低下する傾向となった。フィルム解析ではステンレス板の上方向への線量がコルトフラックス内であった。トモセラピーを用いて金冠からの散乱線を評価する方法は、フィルムを用いると臨床に近い再現が可能であった。また、散乱線の影響はコルトフラックスを用いると低減可能であるという結果であった。

**第 10 回理事会報告** 平成 31 年 2 月 9 日

議長に後藤理事、書記に河野理事を選任し、午後 4 時半より議事開始

**I. 経過報告及び計画に関する件****1) 経過報告および計画 河本会長**

- (経過報告)
- 1月13・14日 業務拡大に伴う統一講習会 (京都第二赤十字病院大会議室)
  - 1月19日 京都私立病院協会新春会員懇親会 (京都ブライトンホテル)
  - 1月20日 第30回近畿地域診療放射線技師会囲碁大会 (かんぼの宿奈良)
  - 1月23日 被ばく医療シリーズ講演会 (京大第一臨床講堂)
  - 2月3日 平成30年度京放技学術大会・府民公開講座 (京都ホテルオークラ)
  - 2月9日 平成30年度第10回理事会 (京放技会議室)
  - (計画)
  - 2月16日 平成30年度第2回近畿地域診療放射線技師会会長会議 (大阪カイゲンファーマ)
  - 日本医療マネジメント学会第16回京滋支部学術総会 (京都テルサ)
  - 2月17日 平成30年度近畿地域診療放射線技師会学術大会 (大阪市立大学医学部)
  - 2月24日 京都市健康増進センター開設25周年記念「いきいき健康フェスタ」(京都市健康増進センター)
  - 3月9日 平成30年度第11回理事会 (京放技会議室)
  - 京都医療科学大学卒業式 (京都医療科学大学)
  - 3月23・24日 第8回学遊会 (アクトバル宇治)
  - 4月6日 平成30年度期末監査 (京放技事務所)
  - 4月13日 2019年度第1回理事会 (京放技会議室)
  - 5月11日 京放技第72回通常総会、第575回研修会、2019年度第2回理事会 (エーザイ京都CO)

**2) 各委員会報告及び計画**

- 【麻務】皿谷理事(欠席)**
- ・会員数1月31日現在571名(先月+1)
  - (内訳)名誉会員4名、正会員542名、賛助会員25社
  - 平成30年度新入会累計42名(再入会2名含む)
  - 1月11・18・20・29日委員会開催 (京放技事務所)
  - ・対外文書73件、発刊文書4件(12月1~31日)
  - ・新卒入会1名を承認
- 【財務】渡里理事**
- ・会費納入状況(平成31年12月末日現在)
  - 平成30年度会費納入者470名、平成29年度会費未納者12名
  - ・会費31.5万円の歳入(1月)
  - ・事業費662,641円、管理費94,256円の歳出(1月)
  - 1月4・31日委員会開催 (京放技事務所)
- 【学術】後藤理事**
- 1月12日 業務拡大に伴う統一講習会の荷物搬送 (京都第二赤十字病院)
  - 1月13・14日 業務拡大に伴う統一講習会開催 (京都第二赤十字病院)
  - 1月21日 学術委員会開催 (京放技事務所)
  - 1月31日 学術大会準備作業 (京放技事務所)
  - 2月3日 府民公開講座・京都府放射線技師会学術大会開催 (参加者:一般63名、会員49名(京都ホテルオークラ))
  - 2月17日 近畿地域診療放射線技師会学術大会開催予定 (大阪市立大学医学部)
  - 5月11日 第575回研修会開催予定 (エーザイ事務所)
  - 5月25・26日 業務拡大に伴う統一講習会開催予定 (京都府立医大病院)
  - 7月14・15日 業務拡大に伴う統一講習会開催予定 (市立福知山市民病院)

2020年

- 1月12・13日 業務拡大に伴う統一講習会開催予定 (京都第二赤十字病院)
- 2月9日 2019年度近畿地域診療放射線技師会学術大会開催予定 (京都テルサ)

**【編集】中島理事**

- 1月22日 府民公開講座パンフレット校了
- 1月25日 2019年2月号ニュース校了

**【広報・渉外】新井理事**

- 1月16日 公益財団法人骨粗鬆症財団HPに府民公開講座案内を掲載
- 1月31日 南地区委員会出席 (京都岡本記念病院)
- 2月1日 平成30年度「無資格者による診療放射線技師業務防止要望」書発刊 (京放技事務所)
- 2月5日 京都病院学会実行委員会出席 (京都私立病院協会)
- 3月5日 京都病院学会実行委員会出席予定 (京都私立病院協会)
- 4月2日 京都病院学会実行委員会出席予定 (京都私立病院協会)
- 3月末 平成30年度・次年度京都府補助金申請に関する書類の作製予定

- ・第54回京都病院学会(6月8・9日)準備委員と座長の募集要請

**【組織調査】蒲理事**

- 1月23日 厚生・組織調査合同委員会開催 (京放技事務所)
- 1月31日 南地区委員会出席 (京都岡本記念病院)
- 2月3日 府民公開講座出席 (京都ホテルオークラ)
- 3月23・24日 第8回学遊会開催 (アクトバル宇治)

**【厚生】中川総理事**

- 1月20日 近畿地域診療放射線技師会囲碁大会(かんぼの宿奈良)優勝:京都府チーム
- 1月23日 組織調査・厚生合同委員会 (京放技事務所)
- 2月3日 新春の集い開催 (京都ホテルオークラ)参加者43名(会員27名、賛助会員16名)
- 3月23・24日 学遊会開催予定 (アクトバル宇治)
- 近畿地域診療放射線技師会囲碁大会は来年度の大阪府を最後に同好会へと移行し、近畿地域として大会を行わないことが決まった。来年度以降は同好会として独自開催していく。

**【情報】大西理事(欠席)**

- 1月14日 学遊会の申し込みの確認(計3件)
- パスワード付き提供資料の申し込み確認(計12件)
- 1月30・31日、2月3日 ホームページのトップページ更新
- 2月7日 学遊会の申し込みの確認(計6件)
- パスワード付き提供資料の申し込み確認(計12件)

**【管理士】山根理事**

- 1月23日 被ばく医療シリーズ講演会参加 (京都大学附属病院)
- 2月17日 近畿地域診療放射線技師会学術大会、管理士連絡会議参加予定 (大阪市立大学医学部)

**【両丹学術】橋岡理事**

- 2月17日 近畿地域診療放射線技師会学術大会出席予定 (大阪市立大学医学部)
- 2月23日 両丹地区冬季研修会開催予定 (セントラール・ホテル京丹後)

**【受賞者選考委員会】河本会長**

- ・報告事項なし

**II. 地区経過報告及び計画に関する件****【北地区】河野理事**

- 1月17日 訃報連絡メール配信
- 1月30日 北地区委員会開催
- 3月 北地区委員会開催予定

**【中地区】楡理事**

- 1月17日 訃報配信
- 1月19~31日 第2回地区委員会の調整連絡
- 1月20日 学術大会の発表者への当日要綱を連絡
- 1月24日 2~3月の研修会、勉強会等の案内配信
- 2月3日 第2回地区委員会開催(5名参加) (京都ホテルオークラ)

**【東地区】中川政幸理事(欠席)**

- 1月21日 新春の集い開催のお知らせをメール配信
- 2月1日 学術大会案内をメール配信

**【西地区】平井理事**

- 1月17日 訃報連絡配信
- 1月18~24日 西地区新入会者の地区メールへの追加入力及び退職者削除作業
- 1月21~31日 学術大会、府民公開講座への西地区委員への参加最終確認及び業務担当連絡
- 地区委員大門博氏転出のため、委員も辞退されたが、今期中は欠員一名で西地区活動を継続する。

**【南地区】三浦理事(欠席)**

- 1月17日 訃報連絡を連絡網配信
- 1月18日 京都病院学会準備委員・座長選出依頼をメール配信
- 1月31日 南地区委員会開催 (京都岡本記念病院)

**【両丹地区】平林理事**

- 2月23日 冬季研修会開催予定 (セントラール・ホテル京丹後)

**【西南部地区】松本理事(欠席)**

- ・報告事項なし

**III. その他****1) 平成31年度事業計画案、予算案(河本会長・渡里理事)**

平成31年度事業計画案、予算案を承認。

**2) 資金調達の有無(河本会長)**

来年度、金融機関からの融資を受ける予定はない。また、建設物を新たに建てる予定がない。以上2点を承認。

**3) 会費未納者の郵便物等の対応(河本会長)**

12月末に会費未納会員は日放技と同等の扱い(研修会是非会員扱い、発刊物発送停止)にすることを承認。

**4) 名誉会員推薦(河本会長)**

田城邦幸会員の名誉会員推薦を承認。

以上、各議案について採択し承認された。(文責:河野)

## 求人のお知らせ

京都市伏見区と西京区の病院にて 4 月からの非常勤の募集がそれぞれあります。  
詳しくは事務所までお問い合わせください。

## 編集後記

### 元読売テレビアナウンサー清水健氏の講演を聞いて ~ その一 ~

先日、近畿地域診療放射線技師会学術大会の府民公開講座として、元読売テレビアナウンサーの清水健氏の講演を拝聴した。清水氏の妻は妊娠中に乳がんが発覚し、自身の治療を遅らせて出産を望んだ（抗がん治療を受けなかった）結果、出産後 112 日で亡くなられた。放射線技師会での講演なので、検査についての話をされていましたが、その中で印象的だったのが「妊娠中にはできなかった RI や CT 検査を出産後に受けたのですが、検査を受けることが妻は本当に怖かったと思います。しかし、私は一緒に検査室に入ることはできません」という話です。小児であれば親が「一緒に入らせて欲しい」と訴えることがあっても、いい大人が、「妻が検査を受けているのに同伴させて欲しい」と言われたことは、私はありません。しかし、中にはそう望んでいる患者様も存在していることに気付かされた。たまに「検査が怖い」と言われる方はいらっしゃいますが、その方に対して私は「寝ているだけです」「息止めを何度かするだけです」と答えています。検査結果が怖いと思っている方にはその解答では不十分であるし、そのような方がいても、「検査を受けないと治療が始まらない。そうすると治療も遠のく」「怖がっていても先に進めない」と心の中で思っていました。しかし、検査結果によって生きるか死ぬかの判定が下される方にとっては、「検査を受けることが本当に怖いのだ」ということが身に染みてわかりました。検査室に親だけでなく配偶者が同伴するという考え方が今後の医療現場にあってもよいのではないかと考えさせられました。

編集委員会 中島 智也

### ▶ 理事会で決定、報告された重要事項

- ・ 12 月末日の時点で日放技会員システム上で会費未納の会員に対しては発送物の停止及び研修会へ会員としての参加が出来なくなります。会費納入が確認された時点でこの処理は解除します。これは日放技の扱いと同等です。

### ▶ 3 月以降の京放技活動

3 月 23・24 日(土日)	第 8 回学遊会	アクトパル宇治
5 月 11 日(土)	第 575 回研修会・第 72 回通常総会	エーザイ京都コミュニケーションオフィス
5 月 25・26 日(土日)	業務拡大に伴う統一講習会	京都府立医科大学

### ▶ 3 月以降の京都府以外での近隣講習会

直近の府外予定はありません

## 会 員 異 動

### 【新卒入会】1 名

脇 健太郎 (ワキ ケンタロウ) 西陣病院 (北 2)

### 【転出】

高屋 恵子 (南 1) 滋賀県放射線技師会へ  
 大門 博之 (西 1) 滋賀県放射線技師会へ  
 澤 英樹 (南 4) 三重県診療放射線技師会へ

### 【訃報】

井上 幹也 (西 1) ご母堂 1 月 23 日御逝去 ご冥福をお祈りします。合掌。

編集：(公社)京都府放射線技師会編集委員会 印刷：(有)修美社